



市長を囲む懇談会

457人の参加者から179件のご質問ご要望が

市長、助役、教育長、技監などが、市政に対する率直なご質問、ご要望を皆さんから直接お聴きするため、隔年で実施している「市長を囲む懇談会」。今年は6月下旬から9月下旬にかけて、各地区公民館など11会場で開催しました。その結果、延べ 人の参加者から件のご要望などをいただきましたのでその一部をご紹介します。

市民の皆さんへ

安城市長 杉浦正行

懇談会を開催しましたところ、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見の中には、国や県などの関係機関との調整や、多額の予算などが必要な問題もありますが、今後の市政に反映するよう努めます。

皆さんと共に考え、共に創る市民参加型のまちづくりを今後も進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いします。

生活環境

Q 市内循環バスについて今後の考えをお聞きたい。

A 昨年の10月に試験運行を開始した市街地線と高棚線の2路線は多くの皆さんにご利用をいただいています。また、今月からは北部線の試験運行を開始しました。運行目的である公共交通空白地帯の解消、中心市街地の活性化と商店街の振興、環境負荷の低減などを踏まえ、今後も現行路線の見直しや他地域での運行などについて検討を進めます。

Q たい肥化した生ごみを集積して農家で有効利用はできないか。

A 現時点では、農業に適した異物混入のない完熟たい肥の製造や流通ルートの確保が困難です。家庭や地域で有効利用をお願いします。

Q 犯罪防止や交通事故防止のための防犯灯の設置を進めてほしい。

A 防犯灯は、地元の町内会に設置希望箇所をお聞きし、危険度の高い箇所から順に予算の許す範囲内で設置を進めています。危険な場所がありましたら、一度町内会にご相談ください。

Q 交通安全モデル地区の設定などにより、交通モラルの向上などを図ったかどうか。

A 交通事情は年々悪化しており、交通事故も増加しています。市では「交通安全条例」を制定し、「人によさしい交通安全推進都市宣言」を行

保健福祉

Q 子育て支援センターの拡充をお願いしたい。

A 現在、錦保育園に「子育て支援センター」を設置して、様々な事業に取り組んでいます。今年度と来年度には、わかば保育園とあけぼの保育園の施設改修にあわせて、順次整備していきます。今後は、各地域の主要施設に順次設置し、経験豊かな人材を配置しながら支援体制の充実を図りたいと考えています。

Q 福祉センターの設置や設備の充実を進めてほしい。

A 福祉センターの設置については地域的なバランスを考え、中学校区単位で順次整備を進めています。設備についても、健康器具、娯楽設備、浴室などを整え、利用者の交流を促進しながら、生きがい活動の場として広くご利用をいただいています。今後も皆さんからのご意見をいただきながら、より充実した施設にしていきたいと考えています。

都市整備

Q 踏切での安全確保のため、地下道を設置したり、歩車道を分離したりできないか。

A 地下道の設置や高架化については、技術的に困難な面が多く、多額の費用もかかります。また、踏切内の工事については、鉄道管理者であるJR東海や名鉄との協議が必要となりますが、危険度が高い箇所から今後も検討を進めます。

Q 昨年、一昨年と大雨による被害が続いている。浸水対策についてお聞きたい。

A 一時的に雨水を貯留しておく調整池及び地下貯水施設や排水ポンプ



子育て支援センター主催のすくすく体操講座

施設などの設置、下水道整備などを順次進めているところです。なお、根本的な解決には、最終的に雨水が流れ込む鹿乗川、長田川、半場川などの県河川の改修などが不可欠ですので、今後も県に早期改修を強く要望していきます。

Q 三河安城駅へのひかり及び快速の停車実現への取り組みを教えてください。

A 昭和63年の開業以来、西三河の関係8市5町で組織されている「三河安城駅利便促進連絡会」を通してJR東海に対し、繰り返し陳情をしているところです。乗降客数も徐々に伸びてきていますが、まだまだその域には達していないのが現状です。今後もより一層の利用促進を図り、

JR東海が予定している平成15年の大幅なダイヤ改正に向け、総力を結集して実現できるよう努力していきます。

Q 中部新国際空港へのアクセスに対する構想と現状をお聞きたい。

A 現在、30の市町村と31の経済団体で組織されている「中部国際空港連絡鉄道建設促進協議会」が中心となり、愛知環状鉄道分岐ルート構想の実現に向けて運動を進めています。三河安城駅と空港がつながれば、三河・知多地域にとって経済的・社会的波及効果は計り知れないものがあります。平成17年の開港までに、名古屋方面からのアクセスを補完するルートとしての地位を固めるべく、同協議会組織の拡充を図りながら、関係機関に構想実現を働きかけていきます。

Q 国道1号整備工事の今後の予定が知りたい。

A 現在、今本町西・今本町・新安城駅の各交差点で地下横断歩道工事を進めています。これらの地下横断歩道には、非常ボタン、ブザー、回転灯を設置します。新安城駅地下横断歩道にはエレベーターを設置し、カメラによる遠隔監視を行います。今後の予定として、両側歩道内に電線や通信線類を収納する共同溝の設置に着手します。また、交差点付近には地元の皆さんのご意見を取り入れたポケットパークの整備を行い、ゆとりと潤いのある歩道空間の確保に努めます。

教育・文化

Q 北部公民館の大規模改修の概要を教えてください。

A 今年度中には、多目的ホールと大会議室を備えた増築部分の工事が終了します。来年度には、現施設内の図書室や児童センターの充実やエレベーターの設置を行う予定です。改修中、出張所、児童センター、児童クラブ、図書貸し出し業務は、増築部分で行います。利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。

Q 大阪での児童殺傷事件を踏まえ、学校での安全確保の対策はどうなっているのか。

A まず、緊急時には火災報知機の利用をできるようにしました。また、来校者をしっかり掌握し、不審者の



整備が進む国道1号

行財政運営

Q 市の中・長期ビジョンをお聞きたい。

A 平成8年に第6次総合計画を策定し、「うるおいと活力にみちた創造性あふれるまち」をめざして各種施策を推進しています。目標年次の半ばに差し掛かり、いよいよ仕上げの段階に入ったところです。まもなく迎える総合計画の改定の中で、高齢化や高度情報化への対応や環境問題

侵入を防ぐとともに、緊急時には教職員が一致団結して、被害を最小限に食い止めるための連絡体制の強化を行いました。なお、教育には地域の皆さんのご協力が不可欠なので、防犯体制を強化する一方で、開かれた学校づくりを今以上に大切にしていきたいと考えています。

などの課題も視野に入れながら、本市のめざすべき都市像について、さらに検討を重ねていきます。

Q 碧海5市の合併構想の現状を教えてください。

A 市町村合併については、現在、国や県も積極的に推進しており、当地域でも、青年会議所が中心となつて合併に関する調査研究や啓発活動が熱心な実施されています。ただ、現状では5市それぞれの歴史や事情などから合併に対する温度差があることは否めません。合併は住民の皆さんの合意が基本ですので、皆さんのご意見を大切にして検討を進めていきたいと考えていますが、当面、平成15年4月スタートを予定している消防の広域連合設立に全力を投入していきます。

Q 相互扶助の精神あふれる「コミュニティ」づくりが急務であると思うがどうか。

A 地域社会の人間関係が希薄になりつつある一方で、災害時における助け合いの必要性や昨今続発する凶悪事件への不安から「地域の子どもは地域で守ろう」という意識が高まるなど、地域社会での「コミュニティ」づくりの重要性が再認識されています。現在、地域づくりの屋台骨を支えていただいている町内会組織が今後もコミュニティの基本単位となると考えています。市としては、さらに町内会への加入促進を図り、地域の自律的な課題解決に対して、今後も支援を続けていきます。